

1

ご使用になる前に

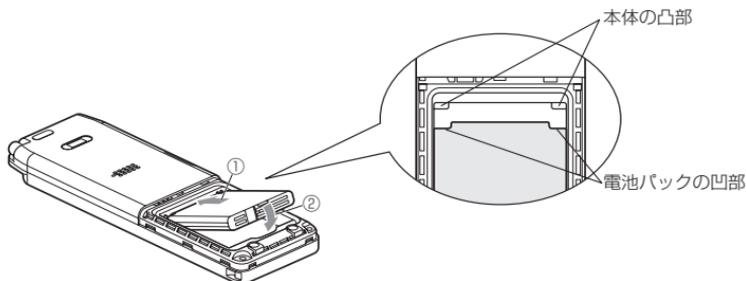
| | |
|-----------|------|
| 充電する | 1-2 |
| 電源を入れる／切る | 1-8 |
| 各部の名前 | 1-9 |
| 画面の見かた | 1-11 |
| ボタンの使いかた | 1-15 |
| 日時を設定する | 1-18 |

充電する

電池パックを取り付ける

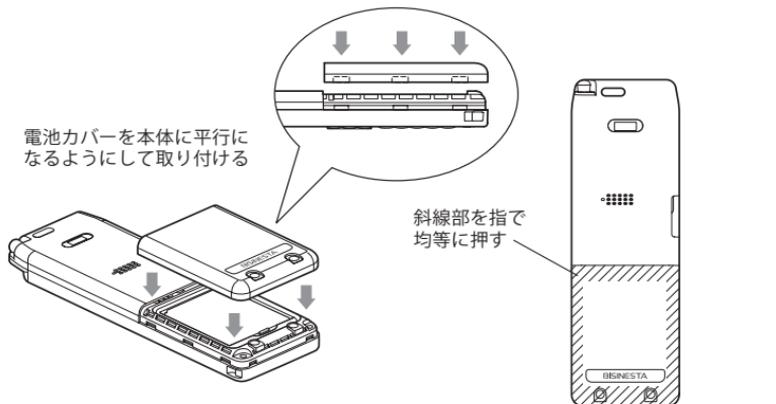
1 電池パックをはめ込む

電池パックの印字面を上にして電池パックの凹部を本体の凸部に合わせて①の方向に差し込み、②の方向に押し付けてはめ込みます。



2 電池カバーを取り付ける

電池カバー裏面の接合部分にゴムパッキンが付いていることを確認してから、以下の要領で取り付けてください。



1. 電池カバーを本体に対して平行になるように置きます。

2. 電池カバーの斜線部分を押し、完全に取り付けます。最後にきっちりと閉まったことを確認します。

3 電池カバーと本体に大きなすき間がないことを確認する

ご注意

- 電池カバーはしっかり閉めてください。

電池パックを交換するときは

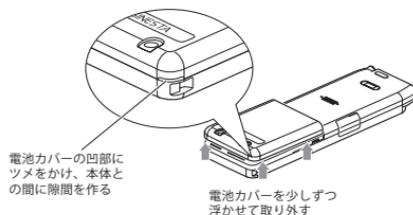
電池パックの寿命の目安は使用頻度によりますが、約1年です。十分に充電しても使用時間が短くなったときは新しい電池パックと交換してください。交換用の電池パック（NBB-9800）をお求めの場合は、本電話機をお買い上げの販売店でお求めになるかまたはJRCモビリティサポートセンターへご相談ください。

電池パックは次の手順で交換してください。

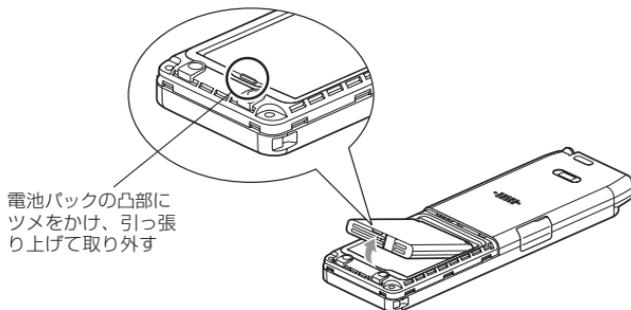
1 電源が入っているときは、 を約3秒以上押し続けて電源を切る

2 電池カバーを取り外す

電池カバーの凹部に指をかけ、電池カバーと本体の間に隙間を作り、電池カバーを指で少しずつ持ち上げて取り外します。



3 電池パックの凸部に指をかけ、電池パックを取り外す



4 新しい電池パックを入れ、電池カバーを取り付ける

「充電する」(※ 1-2 ページ)の手順2にしたがって、電池カバーを確実に取り付けてください。

5 充電する

「卓上ホルダ（別売）で充電する」(※ 1-4 ページ)

ご注意

- 電池パック交換の際は、必ず電源を切ってください。電源を切らずに交換すると、本電話機の故障の原因となります。
- 環境保護のため、使用済みの電池パックは、モバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちください。その際、ショートによる液漏れ、発熱、発火の恐れがあるため、必ず端子にテープを貼るなどの絶縁処理を行ってください。



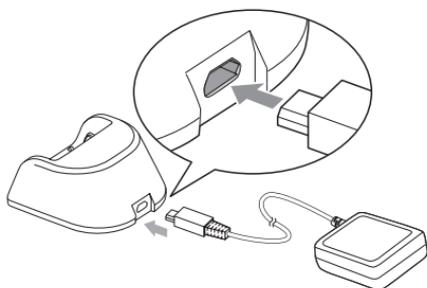
卓上ホルダ（別売）で充電する

ご使用になる前に

1 充電する

卓上ホルダ（別売）とACアダプタを接続すると、本電話機を卓上ホルダ（別売）に置くだけで充電することができます。初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、充電を行ってください。

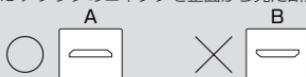
1 卓上ホルダ（別売）の接続端子にACアダプタのコネクタを接続する



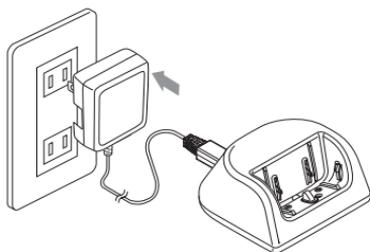
ご注意

- ACアダプタのコネクタを卓上ホルダ（別売）に接続する際には、下図Aのようにコネクタの先端部分の幅が狭い方を上側にして接続してください。下図Bのようにコネクタの向きが逆の状態では接続しようとすると、卓上ホルダ（別売）の接続端子やコネクタの先端部分を破損する恐れがあります。

（ACアダプタのコネクタを正面から見た断面図）



2 ACアダプタの電源プラグをコンセント（AC100V）に差し込む



3 本電話機を卓上ホルダ（別売）に置く

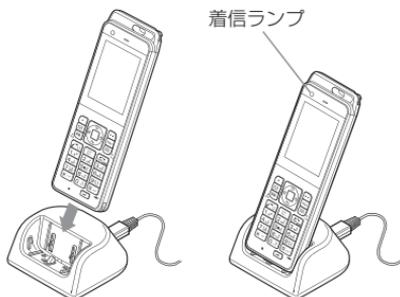
本電話機の背面底部を卓上ホルダ（別売）の壁面に沿わせて電話機の底部が卓上ホルダ（別売）のポケット内に確実に収まるように挿入してください。

その際、若干の抵抗感がありますが、そのまま軽く押し下げてください。

本電話機を卓上ホルダ（別売）に置くと、充電が始まります。

充電中：着信ランプが赤く点灯

充電完了：着信ランプが消灯



4 着信ランプが消灯したら充電完了

充電には約2.5時間かかります。

ご注意

- 電池パックを外した状態で本電話機を卓上ホルダ（別売）に置かないでください。
- 本電話機を卓上ホルダ（別売）に逆にして置かないでください。
- 本電話機の充電端子や卓上ホルダ（別売）の電源端子を時々清掃してください。端子が汚れていると、充電時間が長くなったり、充電できないことがあります。乾いた綿棒や乾いた柔らかい清潔な布で時々拭いてください。また、卓上ホルダ（別売）の置台部に異物が入っていないかどうかご確認ください。異物が入っているとショートする恐れがあります。
- 卓上ホルダ（別売）から本電話機を取り外す際には、片手で卓上ホルダ（別売）を押さえ、もう一方の手で本電話機を持ち、静かに持ち上げてください。

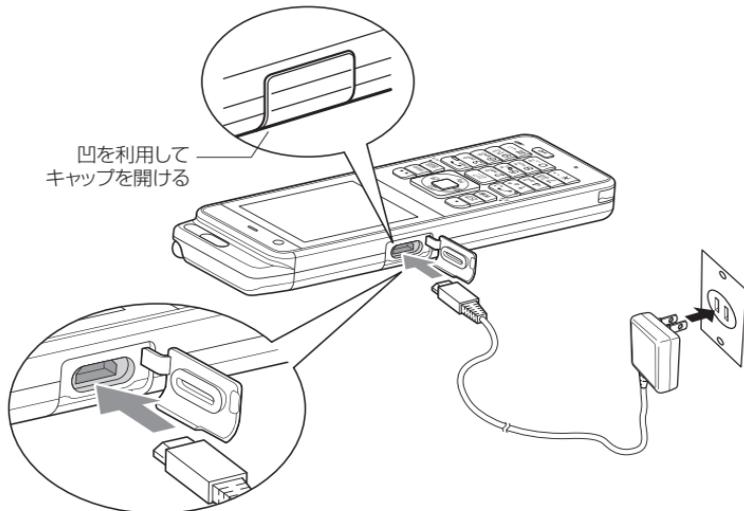
**お知らせ**

- 充電中は、本電話機、卓上ホルダ（別売）および AC アダプタの一部が多少熱くなりますが、異常ではありません。
- 充電完了後に本電話機を取り外したあと、すぐに卓上ホルダ（別売）に戻すと、いったん着信ランプが赤色に点灯することがありますが、異常ではありません。

ACアダプタで充電する

初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、充電を行ってください。

- 1 本電話機のUSB端子のキャップを開ける**
- 2 本電話機のUSB端子にACアダプタのコネクタを接続する**
- 3 ACアダプタをコンセント（AC100V）に差し込む**
充電が始まります。充電中は着信ランプが赤色に点灯します。



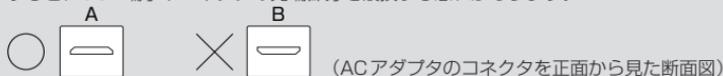
- 4 着信ランプが消灯したら充電完了**

充電には約2.5時間かかります。

- 5 充電が完了したらコンセントから抜き、ACアダプタのコネクタを本電話機から取り外す**
充電が完了したらUSB端子のキャップを閉じてください。

ご注意

- 電池パックを外した状態で本電話機を充電しないでください。
- ACアダプタでの充電は、USB充電の設定にかかわらず、「高速」で行われます。「USBで充電する」(※7-7ページ)
- ACアダプタのコネクタを、本電話機以外に挿さないでください。
- ACアダプタのコネクタをUSB端子に接続する際には、下図Aのようにコネクタの先端部分の幅が狭い方を上側にして接続してください。下図Bのようにコネクタの向きが逆の状態では接続しようとすると、USB端子やコネクタの先端部分を破損する恐れがあります。



- 充電完了後は、USB端子のキャップは完全に閉じてください。キャップを完全に閉じないと、十分な防水効果が得られず、本体内部への浸水の原因となります。

お知らせ

- 充電時間は、本電話機の電源を切り、電池パックを空の状態から充電した場合の目安です。電源を入れたままの場合、充電時間は長くなります。
- 充電端子が汚れていると、正しく充電を行うことができません。時々、充電端子を乾いた柔らかい清潔な布で拭いてきれいにしてください。
- 充電中に着信ランプが点滅した場合は、充電異常が発生しています。再度、ACアダプタのコネクタを接続し直してください。それでも着信ランプが点滅する場合は、電池パックの寿命や故障が考えられます。
- 本電話機の電源の入/切に関係なく充電できます。
- 充電中は、本電話機およびACアダプタの一部が多少熱くなりますが、異常ではありません。
- 初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、着信ランプが消灯するまで充電してください。お買い上げ時の電池パックは十分に充電されています。
- 充電完了後に本電話機を取り外したあと、すぐにACアダプタのコネクタを接続し直すと、いったん着信ランプが赤色に点灯することがありますが、異常ではありません。
- 本電話機と電源の入ったパソコンをUSBケーブル(別売)で接続して充電することもできます。「パソコンと接続する」(※5-2ページ)
- 電池パックを長時間使用しなかったり、使い切った状態で充電せずに放置した場合、充電を開始しても着信ランプが点灯しないことがあります。この場合、電池パックの寿命や故障でなければ、数分後には着信ランプが点灯します。
- 充電中に電池パックが高温となった場合、充電状態を示す着信ランプは点灯しながらも、安全のため電池パックへの充電電流を一時停止し、満充電にならないことがあります。この場合は、電池パックの温度が下がるのを待って、充電を再開してください。
- 充電開始後、着信ランプが一瞬消灯することがありますが、異常ではありません。

電池残量を確認するには

電池残量は、画面に表示される電池マークで確認できます。ただし、表示は目安です。

- 十分にあります。
- まだあります。
- 少なくなりました。
- ほとんどありません。すぐに充電してください。

■電池がなくなったときは

「ピコン ピコン…」という警告音が鳴り、「充電して下さい」と表示されます。

通話中の場合は、「ピービーピー」という警告音が鳴ってから約3分後に通話が切れ、本電話機の電源が切れます。

満充電したときの使用可能時間の目安

充電のしかたや電池パックの劣化度、使用環境によって以下の表の時間は変動します。

| 待受／通話モード | 連続通話時間 | 連続待受時間※ |
|----------|----------|----------|
| 公衆モード | 約 5.5 時間 | 約 700 時間 |

※省電力モード「ON」設定時

オフィスモード、グループモード、電話帳転送モードおよびデュアルモードでの連続待受時間は、公衆モードでの連続待受時間より短くなります。

電波OFFモードでの連続待受時間は、公衆モードでの連続待受時間より長くなります。

お知らせ

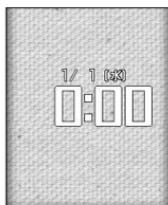
- 連続して通話だけを行った場合を連続通話時間、通話や操作を一切せずに、連続して待ち受け状態を保った場合を連続待受時間と呼びます。
- 連続通話時間や連続待受時間は、静止した状態で、かつ電波状態が安定した場所での時間です。
- 連続通話時間や連続待受時間は、使用場所の電波状態や機能の設定動作などにより短くなります。
- 電話帳、メールなどの文字入力や、インターネットなどのご利用が多い場合、電池パックの消耗が早くなります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 を約2秒以上押す

防水性能に関する注意事項が表示された後アニメーションが表示され、待ち受け画面が表示されます。この注意事項が表示されている間、着信ランプは青→黄→緑→紫→白と点滅をし、白の点滅が終わったらアニメーションが表示され、待ち受け画面が表示されます。



電源を切る

1 を約3秒以上押す

「電源を切りますか?」と表示されます。

2 で「YES」を選択

アニメーションが表示され、電源が切れます。

お知らせ

- 電源OFFメニューを「OFF」に設定している場合は、確認メッセージは表示されずに電源が切れます。

電源OFF確認メッセージの表示を設定する

電源を切る場合に、表示される確認メッセージを表示しないで、すぐに電源を切ることができます。

1 待ち受け画面で

2 または

  で「設定しました」、  で「解除しました」と表示されます。

● (ON) を押すと

電源を切る場合に確認メッセージを表示します。

● (OFF) を押すと

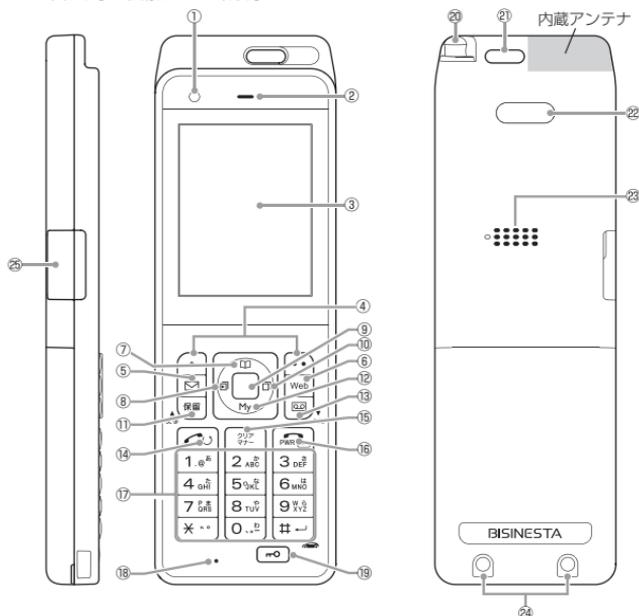
電源を切る場合に確認メッセージを表示しないで、すぐに電源を切ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

各部の名前

ボタンについては代表的な機能だけを説明しています。



①着信ランプ

着信があったときなどに点滅します。「着信ランプを設定する」(※7-10ページ)

②受話口 (レシーバ)

③画面

「画面の見かた」(※1-11ページ)

④カスタムボタン (□・○)

よく使う電話番号や機能を登録し、ワンタッチで呼び出すことができます。登録した機能は待ち受け画面の左下と右下にソフトキーとして表示されます。また、ソフトキーとして画面下に表示された機能を実行します。「ガイドンス表示について」(※1-14ページ)

⑤✉

メールメニューを表示します。「メール」(※3-1ページ)

⑥Web

Webメニューを表示します。「インターネット」(※4-1ページ)

⑦□

画面上の上の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、電話帳を表示します。

⑧□

画面上の左の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、着信履歴を表示します。

⑨■ 決定ボタン

画面に表示された項目を確定します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、メインメニューを表示します。また、ソフトキーとして画面下部中央に表示された機能を実行します。「ボタンの使いかた」(※1-15ページ)

⑩□

画面上の右の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、発信履歴を表示します。

⑪☎

通話中の電話を保留にします。

⑫□

画面下の下の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、マイメニューを表示します。

⑬ 

電話に出られないときに相手にメッセージを伝えたり、相手の音声を録音します。留守録音を設定／解除できます。「留守録音を設定する」(※2-48ページ)

⑭ 

電話をかけたり受けたりするときに押します。「電話をかける」(※2-2ページ)

⑮ 

入力した番号・文字を消去します。また、操作中の前の画面に戻るときやマナーモードを設定／解除するときにも押します。

⑯ 

通話を終了します。また、電源の入／切、着信音の停止を行います。

⑰ ダイヤルボタン [0-9]、[*]、[#]

電話番号や文字を入力します。また、メニューの項目を番号で選択するときにも押します。

⑱ 送話口 (マイク)

⑲ キーロックキー

キーロックの設定／解除を行います。「ボタン操作をロックする(キーロック)」(※6-7ページ)

⑳ アンテナ

㉑ ストラップ取り付け穴

㉒ 赤外線ポート

赤外線通信を行うときに使用します。「赤外線通信を行う」(※2-35ページ)

㉓ スピーカ

㉔ 充電端子

「充電する」(※1-2ページ)

㉕ USB 端子

USBケーブル(別売)でパソコンと接続できます。「パソコンと接続する」(※5-2ページ)

アンテナの使いかた

本電話機は、アンテナを収納しているも電話をかけたり受けたりできますが、よりよい条件で電話するためにアンテナを十分伸ばしてお使いください。



アンテナと本体の間の段差にツメをかけてアンテナを押し出す

アンテナを伸ばすときは、先端と本体の間にある段差に指をかけてアンテナを少し押し出し、「カチッ」と音がするまで十分に引き上げてください。



アンテナを収納するときは、アンテナの根元を持ってまっすぐに下ろしてください。

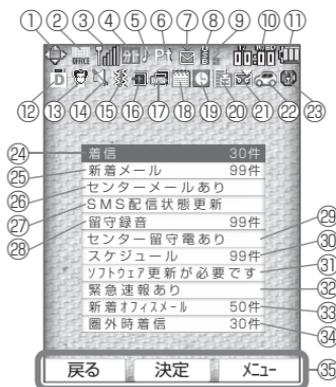
お知らせ

- 携帯するときは、必ずアンテナを収納してください。
 - アンテナに無理な力を加えないでください。
- また、アンテナを曲げた状態で無理に収納しようとすると変形や破損の原因になります。

内蔵アンテナについて

本電話機には、内蔵されているアンテナもあります。内蔵アンテナ付近を指や金属などで触れたり覆ったりすると電波感度が弱まることがあります。特に内蔵アンテナ付近にシールなどを貼らないようにしてください。

画面の見かた



① 上下左右の項目を選択できるときに表示されます。



上下の項目を選択できるときに表示されます。



左右の項目を選択できるときに表示されます。



② オフィスモード時に表示されます。



公衆／オフィスモード時に表示されます。



オフィス／公衆モード時に表示されます。



グループモード時に表示されます。



公衆／グループモード時に表示されます。



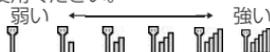
グループ／公衆モード時に表示されます。



転送モード時に表示されます。



③ 受信している電波の強度を表示します。電波が強いほど通話に適しています。電波が弱く、通話できないことがあります。電波の強い場所へ移動してください。



待受モードを公衆＋オフィスのデュアルモードに設定しているときは、公衆基地局と事業所用コードレスシステムに設置されたアンテナからの電波の受信状態を のように表示します（上が公衆、下がオフィス）。



管理者ロック指定時間制限時に表示されます。



電波OFFモード時に表示されます。



④ 料金分計設定時に表示されます。「料金分計サービスを利用する（有料）」（P.7-60 ページ）



呼び出し中、通話中に表示されます。



データ送受信中に点滅します。「インターネット」（P.4-1 ページ）



SSL通信中に表示されます。データ送受信中は点滅します。

J

Java™起動中に表示されます。「Javaアプリケーションを実行する」(※7-49ページ)

⑤ 

Webページに音楽データが組み込まれているときに表示されます。「BGMの再生を設定する(BGM)」(※4-21ページ)

⑥ 

パケット通信中に表示されます。「データ通信を行う」(※5-3ページ)



32kPIAFS通信中に表示されます。「データ通信を行う」(※5-3ページ)



64kPIAFSのベストエフォート通信中に表示されます。「データ通信を行う」(※5-3ページ)



64kPIAFSのギャランティ通信中に表示されます。「データ通信を行う」(※5-3ページ)



AO/DI(1xパケットと64kPIAFSの切り替え)通信中に表示されます。「データ通信を行う」(※5-3ページ)



未読メールがあるときに表示されます。「受信したメールを読む」(※3-11ページ)、「受信したオフィスメールを読む」(※8-10ページ)

⑦ 

EメールやSMS、オフィスメールの受信中にアニメーションで表示されます。「受信したメールを読む」(※3-11ページ)、「受信したオフィスメールを読む」(※8-10ページ)



Eメール受信に失敗し、サーバに未受信のメールが残ったときに表示されます。「Eメールを受信する」(※3-11ページ)

⑧ 

USBケーブル(別売)でパソコンと接続中に表示されます。データ送受信中は点滅します。「パソコンと接続する」(※5-2ページ)

⑨ 

USBケーブル(別売)経由で高速充電中に表示されます。「USBで充電する」(※7-7ページ)



USBケーブル(別売)経由で低速充電中に表示されます。「USBで充電する」(※7-7ページ)

⑩ 

日付/時計が表示されます。「日時を設定する」(※1-18ページ)

⑪ 

電池残量が表示されます。「充電する」(※1-2ページ)



充電しているときに点灯します。「充電する」(※1-2ページ)



充電するよう警告を表示しているときに点滅します。「充電する」(※1-2ページ)

⑫ 

ダイヤルロック(キーロック起動、タイマ起動)設定時に表示されます。「ダイヤルをロックする(ダイヤルロック)」(※6-8ページ)

⑬ 

マナーモード時に表示されます。「マナーモードを設定する」(※2-42ページ)



オートサイレントモード時に表示されます。「特定の時間帯に着信音を消す(オートサイレント)」(※2-43ページ)

⑭ 

マナーモードで各種音量がオフになっているときに表示されます。「マナーモードを設定する」(※2-42ページ)

⑮ 

マナーモードで各種バイブレーションがオンのときに表示されます。「マナーモードを設定する」(※2-42ページ)

⑯ 

履歴の確認されていない不在着信があるときに表示されます。「記録されている電話番号にかける(発信履歴/着信履歴/番号メモ)」(※2-3ページ)

⑰ 

データ呼の着信に回答しなかったときに表示されます。「パソコン接続中に着信する」(※5-19ページ)

⑱ 

通知「なし」以外の未確認のスケジュールがあるときに表示されます。「スケジュール機能を利用する」(※7-20ページ)

⑲ 

アラームが設定されているときに表示されます。「アラームを利用する」(※7-26ページ)



留守番ネットワークセンターに留守録があるときに表示されます。「留守番電話サービスを利用する (有料)」(※7-60ページ)



マナー留守録が設定されているときに表示されます。「留守録音」のマナーモードの設定内容を変更する」(※2-43ページ)



留守録が設定されているときに表示されます。「留守録音を設定する」(※2-48ページ)



未確認の留守録があるときに表示されます。「録音されたメッセージを再生/削除する」(※2-49ページ)



保存先の容量がいっぱいでもこれ以上録音できないときに表示されます。「録音されたメッセージを再生/削除する」(※2-49ページ)



安全運転モードのときに表示されます。「安全運転モードを設定する」(※2-43ページ)



位置情報機能が設定されているときに表示されます。「位置情報を利用する」(※7-34ページ)

②④ 着信 ○○件

応答しなかった着信の件数が表示されます。「記録されている電話番号にかける (発信履歴/着信履歴/番号メモ)」(※2-3ページ)

②⑤ 新着メール ○○件

メールを受信したときに表示されます。「Eメールを受信する」(※3-11ページ)

②⑥ センターメールあり

サーバにメールがあるときに表示されます。「Eメールを受信する」(※3-11ページ)

②⑦ SMS配信状態更新

配信レポートを受信した際に表示されます。「SMS配信レポートを設定する」(※3-29ページ)

②⑧ 留守録音 ○○件

留守録にメッセージが録音されたときに表示されます。「留守録音を設定する」(※2-48ページ)

②⑨ センター留守電あり

留守番ネットワークセンターに留守録があるときに表示されます。「留守番電話サービスを利用する (有料)」(※7-60ページ)

③⑩ スケジュール ○○件

「通知する」または「事前通知する」のスケジュールが未確認のとき、その件数が表示されます。「スケジュール機能を利用する」(※7-20ページ)

③⑪ ソフトウェア更新が必要で

ソフトウェア更新が必要のときに表示されます。「ソフトウェアを更新する」(※7-66ページ)

③⑫ 緊急速報あり

緊急速報を表示中に着信があった場合や、緊急速報を表示してから何も操作せずに約10分経過すると表示されます。「緊急速報を利用する (緊急速報)」(※7-38ページ)

③⑬ 新着オフィスメール ○○件

オフィスメールを受信したときに表示されます。「受信したオフィスメールを読む」(※8-10ページ)

③⑭ 圏外時着信 ○○件

圏外や電源OFF状態で音声着信があったときに表示されます。「着信お知らせ機能を利用する (無料)」(※7-63ページ)

③⑮ ガイドンス表示

「ガイドンス表示について」(※1-14ページ)

お知らせ

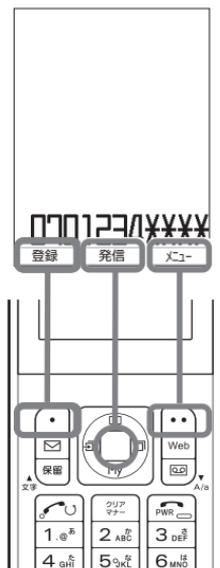
- 「②④着信」の表示は最大30件です。30件を越えた場合でも「30件」と表示されます。
- 「②⑤新着メール」「②⑧留守録音」「②⑩スケジュール」の表示は最大99件です。99件を越えた場合は「*件」と表示されます。

ガイダンス表示について

画面の下端には、、、のその時点の機能が表示されます。

ご使用になる前に

1 画面の見かた



お知らせ

- ガイダンス表示がないときは、、はカスタムボタンとして機能する場合があります。
「カスタムボタンを設定する」(※7-16ページ)

ボタンの使いかた

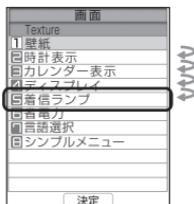
項目の選択と決定のしかた

本電話機では、画面に表示された項目を選択して「決定」という操作を行うことでさまざまな機能を実行します。項目選択と決定の操作には、上下左右ボタンを使う方法とダイヤルボタンを使う方法があります。

上下左右ボタンで選択し、決定するには

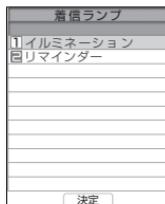
1 上下左右ボタンで項目を選択する

この画面のように選択肢が上下に並んでいる場合は、で項目を選択します。例えば「壁紙」が選択された状態から「着信ランプ」を選択する場合は、を4回押します。



2 を押す

「着信ランプ」の画面が表示されます。



ダイヤルボタンで決定するには

選択肢に1、2、3…と番号が振られている場合は、その番号のボタンを押すことで項目が選択されます。

1 ダイヤルボタンを押す

例えば「着信ランプ」を選択する場合は  を押します。



メインメニューについて

待ち受け画面で を押すとメインメニューが表示されます。メインメニューから本電話機の各機能を使用することができます。メインメニューは (切替) を押すことでデザインを切り替えることができます。

メインメニューの項目は で選択して を押す方法で実行できるほか、図で示したダイヤルボタンで実行することもできます。「メインメニュー画面を変更する」(※P.7-14ページ)



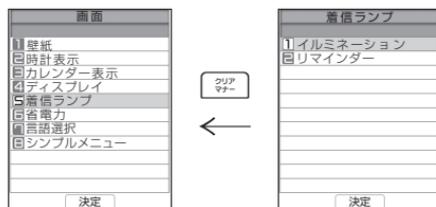
共通のボタン操作

以下は、本電話機の機能全体に共通するボタン操作です。

前の画面に戻る

1 を押す

操作の途中で を押すと、操作が取り消されて前の画面に戻ります。



待ち受け画面に戻る

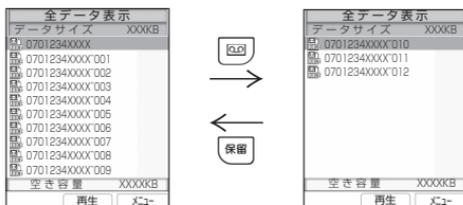
1 を押す

スクロールする

一覧表示の画面では、次のページにスクロールしたり元のページに戻ったりすることができます。

1 [右] または [左] を押す

[右] で次の一覧を表示することができます。また、[左] で前の一覧に戻ることができます。



高速スクロールする

一覧表示の画面では、高速にスクロールを行うこともできます。

1 [下] または [上] を約 1 秒以上押したままにする

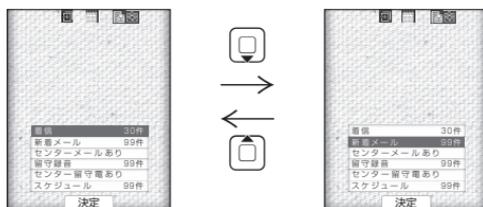
画面上のカーソルが高速にスクロールします。

[下]、[上] も、ボタンを約 1 秒押したままにしておく、と、ページ単位の高速なスクロールが行えます。

ポップアップを選択する

着信があったことや新しくメールが届いたことなどを通知するのが「ポップアップ」です。

1 ポップアップが表示されているとき [下] でポップアップを選択する



2 [決定] を押す

その通知に関連する機能の画面が表示されます。

● ポップアップを消すには

[決定] を押します。

● ポップアップを再表示するには

[決定] を約 1 秒以上押します。

日時を設定する

ご使用になる前に

1

日時を設定する

本電話機は電源を入れたときやパケット通信時に、自動的に日時が設定されます。「自動時刻補正を設定する」(P.7-8ページ)必要に応じて手で日時を設定することもできます。日時が正しくないと、着信履歴やメールなどの日時も正しく表示されません。

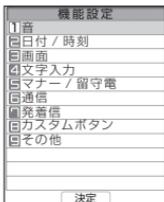
1 待ち受け画面で を押す

メインメニューが表示されます。

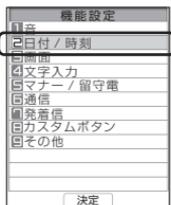


2 を押す

- 「機能設定」が選択されていないときは  で「機能設定」を選択してから  を押してください。

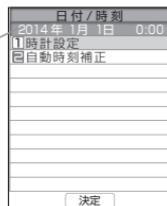


3 で (日付/時刻) を選択する



4 を押す

ここに現在の設定内容が表示されます



5 を押す

- (時計設定) が選択されていないときは  で (時計設定) を選択してから  を押してください。



6 で年月日の直したい箇所にカーソル (点滅する四角) を移動し、 で正しい数字を入力する

年は、西暦の下2桁だけを変更できます。1桁の数字を入力するときは、先頭に0をつけて「01」のように入力してください。



カーソル

7 年月日を直したら、でカーソルを時刻側に移動する

で、年月日と時刻の間をカーソルが移動します。



8 で時刻の直したい箇所にカーソルを移動し、 ~ で正しい数字を入力する



9 正しい日時に合わせたら を押す

完了音が鳴って「設定しました」とメッセージが表示され、日時が設定されます。



10 を押す

待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時には、「2014年1月1日 00:00」に設定されています。
- 時計の精度は、1ヶ月に±60秒程度です(25℃常温の場合)。
- 時計の表示形式を変えることもできます。「時計表示を設定する」(※7-8ページ)

